

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年9月27日時点)

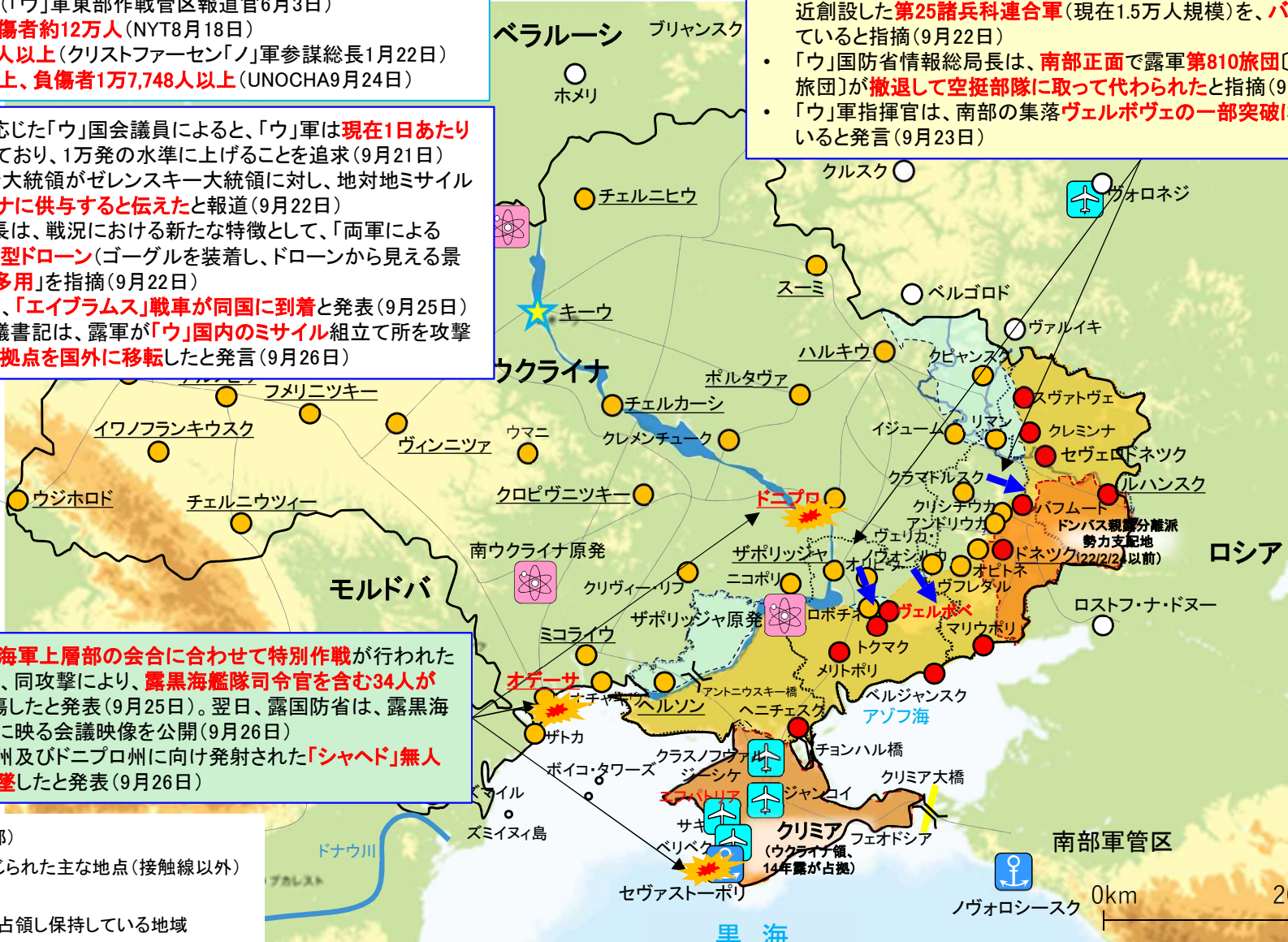
▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の**露軍**に対する**攻撃を強化**する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者9,701人以上、負傷者1万7,748人以上 (UNOCHA9月24日)

- CNNのインタビューに応じた「ウ」国会議員によると、「ウ」軍は**現在1日あたり6千発の砲弾を使用**しており、1万発の水準に上げることを追求 (9月21日)
- 米メディアは、バイデン大統領がゼレンスキー大統領に対し、地対地ミサイル「**ATACMS**」を**ウクライナに供与すると伝えた**と報道 (9月22日)
- 「ウ」国防省情報総局長は、戦況における新たな特徴として、「**両軍によるFPV(一人称視点)自爆型ドローン** (ゴーグルを装着し、ドローンから見える景色を見ながら操縦)の多用」を指摘 (9月22日)
- ゼレンスキー大統領は、「**エイブラムス**」戦車が**同国に到着**と発表 (9月25日)
- 「ウ」国家安全保障会議書記は、露軍が「**ウ**」国内の**ミサイル組立て所**を攻撃するため、**一部の製造拠点を国外に移転**したと発言 (9月26日)

- 「ウ」国防省情報総局長は、「ウ」軍は、**バフムト正面の露軍を南部正面などの他の戦線に転用されないよう拘置する目的を達成**している」と明言。また、露軍は、最近創設した**第25諸兵科連合軍** (現在1.5万人規模)を、**バフムトの北側に展開**させていると指摘 (9月22日)
- 「ウ」国防省情報総局長は、**南部正面**で露軍**第810旅団** [露黒海艦隊の海軍歩兵旅団]が**撤退して空挺部隊に取って代わられた**と指摘 (9月22日)
- 「ウ」軍指揮官は、南部の集落**ヴェルボヴェの一部突破に成功**し、前進を継続していると発言 (9月23日)



- 「ウ」特殊作戦軍は、**露海軍上層部の会合に合わせて特別作戦**が行われたと発表 (9月23日)。また、同攻撃により、**露黒海艦隊司令官を含む34人が死亡**、100人以上が負傷したと発表 (9月25日)。翌日、露国防省は、露黒海艦隊司令官がモニターに映る会議映像を公開 (9月26日)
- 「ウ」空軍は、オデーサ州及びドニプロ州に向け発射された「**シャヘド**」無人機×38機中、**26機を撃墜**したと発表 (9月26日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等